２０２０年○○月○○日

別添2-1

【研究開発項目①用】

**研究開発成果の事業化計画書**

※各企業（再委託先等含む）でそれぞれ作成し、大学等による作成は不要です。

※別添1-1の「1-4. 研究開発成果の実用化・事業化の見込み（データ活用のビジネス構想等）」に記載の留意事項も御確認のうえ作成してください。

※全体を通して、フェーズBまで開発を終えた先の事業化計画として、現時点での想定で記載してください。

法人名 株式会社○○○○○○

1. 実用化・事業化を行う製品・サービス等の概要

1. 内容

製品・サービス等の内容や、研究開発の成果が、当該製品・サービスへどのように反映されるか記載してください。

1. 製作・実施等の制約

製品・サービス等の製作・実施にあたって、必須となる材料等の調達先（国、企業、産地等）や制約等、サプライチェーン上の立ち位置等を記載してください。

1. 用途（販売予定先）

当該製品・サービスの想定される販売ルート（国、地域含む）、販売先等を記載してください。この販売先以外の分野等で利用できる場合は、それについても記載してください。

2. 実用化・事業化への取組

1. 実用化・事業化に向けた計画等

プロジェクト期間終了後5年間（～2029年度）までの実用化・事業化を目指し実施する開発計画（開発拠点含む）、投資計画（製造拠点含む）、実用化・事業化能力等を記載願います。

また、本プロジェクトで行われる技術開発の内容以外で実用化・事業化のために必要な技術開発内容や製品設計内容、規制見直しや標準化等がある場合はそれらを具体的に記載し、どの様に達成するかについても併せて記載願います。

1. 実用化・事業化を考えるに至った経緯（動機）

実用化・事業化開発を目指した背景等について具体的に記載願います。

〈事業者における研究計画、事業計画等に基づき、どの様な背景で研究開発に取り組み、実用化・事業化を目指すに至ったのか記載願います。〉

1. 事業として成功すると考える理由

事業の新規性、独創性、他との競争力、実用化・事業化までに想定される課題とその解決方法など具体的に記載してください。

1. 実用化・事業化計画に対する申請者内におけるコミットメントの状況

実用化・事業化計画について申請者内の販売部門など関連する事業部の責任者等との現時点でのコミットメント状況について記載願います。

1. 実用化・事業化のスケジュール

(1)「実用化・事業化に向けた計画等」で記述した内容を踏まえ、プロジェクト期間終了後5年間（～2029年度）の想定される実用化・事業化計画を、生産・販売・市場獲得などの具体的な実用化・事業化の段階に区分し、実用化・事業化の各段階が明瞭となるよう線表、矢印、記号等を用いて記述してください。

なお、プロジェクト実施期間中から実用化・事業化を開始する計画がある場合には、その年度から計画を記述してください。

実用化・事業化の各段階において、実用化・事業化の中断や延期など、実用化・事業化全体の計画変更を考慮する必要がある重大な障害を予想し、記述してください。

また、重大な障害が回避し得ない場合、どの時点で計画変更の判断を下すのかを、線表に記入してください。

生産・販売の一部又は全部を自社で行わない場合は、委託先の選定、協力体制等を具体的に記述してください。

(記入例)

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  ***年度*** |  ***年度*** |  ***年度*** |  ***年度*** |  ***年度*** |
| ***製品設計******○○設計完了▲******▲Tuki*** ***設備投資******生産******販売******収益発生*** | ***▲○○億円******▲Tuki*** ***▲サンプル出荷開始******▲Tuki***  | ***▲○万台／月uki***  | ***▲生産開始******▲Tuki*** ***▲○万台／月uki*** ***第２生産ライン立ち上げ▲******▲Tuki*** 　 　***◇続行/*** ***▲○万台／月uki***  | ***▲○○億円******▲Tuki*** ***▲○万台／月uki*** ***中断を判断******▲○万台／月uki***  |  |

予想される重大な障害：

製品設計段階 ：～～～～～～

設備投資段階 ：～～～～～～

生産段階 ：～～～～～～

販売段階 ：～～～～～～

3. 市場の動向・競争力

1. 市場規模（現状と将来見通し）／産業創出効果

実用化を目指す製品・サービスに関する国内と海外の想定される市場規模（百万円）を示し、その根拠を記述してください。〈現状、プロジェクト期間終了時点（2024年度末）及びプロジェクト期間終了5年後（2029年度）についてそれぞれ記載願います。〉

申請者のみの市場規模にこだわらず開発する製品・サービス群の市場規模として捉えてください。

また、市場における申請者のシェアの推移を見通し、その根拠を記述してください。

(記入例)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 国内 | 海外 |
| 国内全体の市場規模 | 申請者の市場規模 | 申請者シェア | 海外全体の市場規模 | 申請者の市場規模 | 申請者シェア |
| 現状 | ○○○百万円 | ○○○百万円 | ○○％ | ○○○百万円 | ○○○百万円 | ○○％ |
| プロジェクト期間終了時点 | ○○○百万円 | ○○○百万円 | ○○％ | ○○○百万円 | ○○○百万円 | ○○％ |
| 終了後1年目（2025年度） | ○○○百万円 | ○○○百万円 | ○○％ | ○○○百万円 | ○○○百万円 | ○○％ |
| 終了後2年目（2026年度） | ○○○百万円 | ○○○百万円 | ○○％ | ○○○百万円 | ○○○百万円 | ○○％ |
| 終了後3年目（2027年度） | ○○○百万円 | ○○○百万円 | ○○％ | ○○○百万円 | ○○○百万円 | ○○％ |
| 終了後4年目（2028年度） | ○○○百万円 | ○○○百万円 | ○○％ | ○○○百万円 | ○○○百万円 | ○○％ |
| 終了後5年目（2029年度） | ○○○百万円 | ○○○百万円 | ○○％ | ○○○百万円 | ○○○百万円 | ○○％ |

市場規模算出の根拠：～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

シェア見通しの根拠：～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

（注）

 1. 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とし、縦位置とすること。